

茶園作業が始まりました！

4月17日（金）本格的な茶園作業が始まりました。大野原の冬の厳しさに耐え、見た目にも緑の色を濃くする茶葉が“時の到来”を告げる時節になりました。

この日の午後、中学生は茶園に出て、硫安（りゅうあん：硫酸とアンモニウムが結合した窒素肥料。植物の葉を大きく成長させる植物にとって欠かせない成分。）を蒔き、茶葉にからんだ「かずら」や「杉の落穂」を取る作業に精を出しました。

4月23日（火）は、朝から雨が心配される中、小中学生27名がそろって「かずら」や「杉の落穂」を取る作業に汗を流しました。小学生といっても、お茶づくりの手伝いをしてきた子ども達です。手際の良さには感心します。

